

## 第4章 基本構想にかかる区民参加に関する取り組み

平成24年8月の組織改正に伴い、せたがや自治政策研究所を担当するセクションは、基本構想・政策研究担当部となった。これは、研究所が持つ中長期を展望した基本調査や政策研究の成果、住民参加に関するノウハウ等を新たな基本構想の策定に生かすことが目的である。そこで、平成24年度は基本構想の策定に向けた議論に区民の意見を生かしていくことを目的に、区民参加・区民意見聴取の機会の創出・実施を図ってきた。本章では、これらの取り組みについて、概要を記載する。

### 1 シンポジウム

平成24年3月16日（金）、世田谷区役所三軒茶屋分庁舎5階「三茶しゃれなあど オリオン」にて、「世田谷区基本構想シンポジウム ～新しいコミュニティ形成をめざして～」を開催した。以下、概要を掲載する。

なお、基本構想シンポジウムの当日の様子については、インターネットで動画を公開している。（平成25年5月現在）

動画は世田谷区のトップページ から、「くらしのガイド > 区政情報 > 広報 > せたがや動画 > せたがや動画 > 世田谷区オフィシャルチャンネル」にて視聴できる。

また、当日の資料は以下のサイトに掲載されている。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/157/722/1875/d00038811.html>

#### （1）開催主旨

世田谷区が今後20年を展望する新たな基本構想策定に向けて、平成23年12月から取り組みを始める中で、本シンポジウムは地域社会の基礎となる「コミュニティ」を題材に、世田谷区の特長、まちづくりおよび自治等の観点から、区の望ましい地域社会の形成について議論を深めるため、学識経験者および有識者を招いて講演と意見交換を行った。

#### （2）基調講演

テーマ「コミュニティ形成と住民力」

講師 森岡 清志氏（放送大学教授・東京都立大学名誉教授）

##### ・講演の概要

はじめに、「コミュニティ」の定義およびその歴史的な変遷と、なぜ今そのコミュニティ形成が求められているのかについて解説がなされた。かつて、例えば井戸端会議では住民間のコミュニケーションが副次的、潜在的な機能が働いていたが、現状の都市的生活様式では、地域社会における共通・共同の課題が専門処理によって行われていることから、そのような機能が失われていることが考えられている。

最後に、地方分権の推進や新しい統治の必要性が叫ばれている現在、住民や民間セクターが公共的領域の対等なパートナーとして、意思決定過程に参画することで住民関与を高め、

処理システムの改革へといかに結び付けていくかが問われているとの問題提起がなされた。

### (3) 事例解説

テーマ「コミュニティ活動の実例 ～船橋小径の風景づくりについて～」

講師 西川 美枝子氏（船橋小径の会代表）

### (4) パネルディスカッション

テーマ「コミュニティの活性化」

パネラー 森岡 清志氏（放送大学教授・東京都立大学名誉教授）

大杉 覚氏（首都大学東京 大学院教授）

西川 美枝子氏（船橋小径の会代表）

松任谷 正隆氏（音楽プロデューサー）

## 2 世田谷区民意識調査

基本構想の認知度、新たな基本構想策定への関心度、将来の世田谷区のイメージ、新たな基本構想に特に取り入れたい項目などについて、毎年度実施している「世田谷区民意識調査」を活用して、区民の意見・考えを確認した。

対象者 世田谷区在住の満 20 歳以上の男女

対象数 4,000 人

抽出方法 層化二段無作為抽出法

調査方法 郵送配布・郵送回収

調査期間 平成 24 年 5 月 22 日～6 月 11 日

有効回収数 2,332（有効回収率 58.3%）

（調査結果は区ホームページを参照）

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/160/785/d00121085.html>

## 3 区民モニターアンケート

基本構想の認知度、新たな基本構想策定への関心度、将来の世田谷区のイメージ、新たな基本構想に特に取り入れたい項目などについて、区政に対する区民の積極的な意見等を政策経営に反映させる制度である「区民モニター制度」を活用して、区民モニターの意見・考えを確認した。

対象者 第 14 期区政モニター

対象数 198 人

調査方法 郵送配布・郵送回収及びEメールによる送受信

調査期間 平成 24 年 5 月 31 日～6 月 15 日

有効回収数 168（有効回収率 84.9%）

（調査結果は区ホームページを参照）

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/160/786/d00122352.html>

#### 4 区民ワークショップ

幅広い世代の区民意識等を基本構想審議会の議論に生かすため、区民ワークショップを実施した。実施にあたっては、日頃区政にあまり関わりのない方の意見などを把握するために、無作為抽出により参加者を募った。(詳細については、本誌研究報告を参照)

開催日時 平成 24 年 6 月 30 日 (土) 午前 10 時～午後 5 時

開催場所 区役所第 3 庁舎 3 階 ブライトホール

参加者 88 人 (男性 58 人、女性 30 人)

討議テーマ 午前の部 世田谷区の魅力・課題・めざすべき将来像について

午後の部 世田谷区で今後 20 年の間に実現させたいこと

その実現に向けて区民自らできること

#### 5 区民意見・提案発表会

日頃から区内で活動している地域団体などの区民からの意見・提案を基本構想審議会の議論に生かすため、区民意見・提案発表会を実施した。

開催日時 平成 25 年 1 月 12 日 (土) 午後 1 時～午後 5 時 20 分

開催場所 区役所第 2 庁舎 4 階 区議会大会議室

発表者 29 団体

募集内容 これまでの基本構想審議会・部会の議論を踏まえた「20 年後の世田谷区が目指すべき姿」についての意見・提案

意見・提案内容

防災、環境、まちづくり、多世代交流、地域のつながり、地域活性化コミュニティ。区民自治、福祉、子育てなど多岐にわたる意見・提案が発表された。

(提案内容の詳細は区ホームページを参照)

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/107/157/722/1875/d00124202.html>

#### 6 区民アンケート

より多くの区民の意見を聴くため、区民アンケートを実施した。審議会で試論された「世田谷区が目指すべき姿」や、上記区民ワークショップの提案の中で出された「今後 20 年の間に実現させたいこと」について、どの程度共感できるかを確認した。

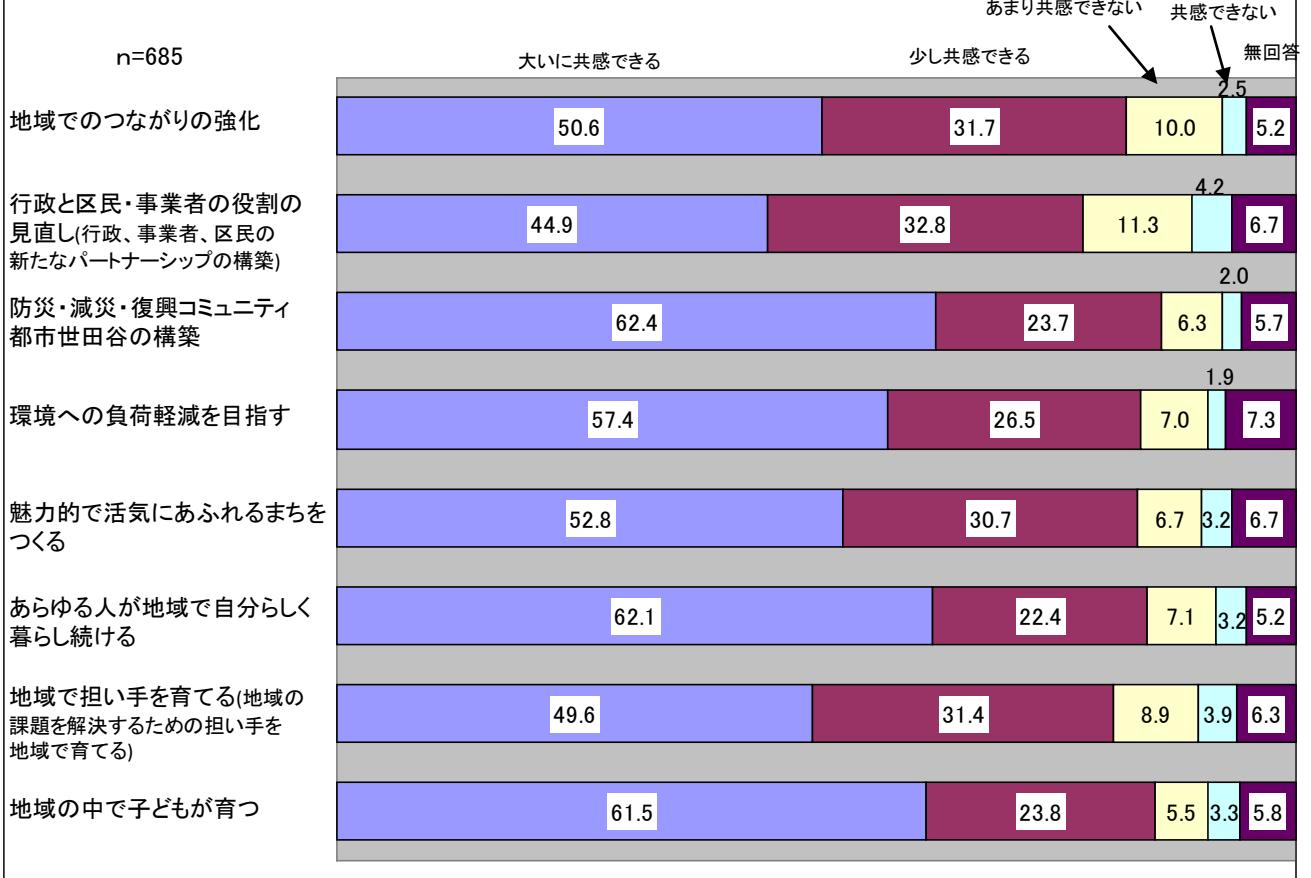
実施期間 平成 24 年 11 月 15 日～12 月 12 日

提出件数 685 件

《内訳》ハガキ 596 件、ホームページ 76 件、FAX 4 件、封書 2 件、持参 7 件

## 区民アンケートの集計結果

### 世田谷区が目指すべき姿



### 今後20年の間に実現させたいこと

